

# 我が母校に 今一度!

## 8月12日 皇學館高等学校同窓会 会員総会開催

# 皇高同窓会報

題字 皇學館高等学校長 中村正昭

◇編集発行 皇學館高等学校 同窓会 (本部)  
〒516-8577  
三重県伊勢市楠部町138番地  
TEL (0596) 22-0205 (代)  
FAX (0596) 24-3141

## 「母校創立五十周年へ向けて」



皇學館高等学校 同窓会 会長 坂田 巧 (第一期生)

昭和三十八年に誕生した母校が、六年後の平成二十五年には創立五十周年を迎えることとなります。

創設初期の厳しい時代を乗り越え、在校生の各種スポーツ大会における活躍、国公立大、有名私大への合格という学業面での躍進、また、卒業生の実社会での仕事に対する実績などにより、皇學館高等学校の教育方針が世間に高く評価された結果、入学志願者が増加するとともに、校舎および設備も充実され、大きく発展して参りました。そして、五十周年記念事業の魁として、立派な新武道場と中学校校舎そしてセミナーホールが後援会のご尽力で完成しました。

そこで、今回の同窓会総会は、久々に母校を会場に開催することと致しました。設備の充実した母校を見学するとともに、高校時代に戻って先生方と懐かしく語り合い、同期の仲間たちや先輩後輩との交流を楽しんでいただきたいと思ひます。

さて、わが同窓会も、会員が一五、〇〇〇名を数えようとする大所帯となり、それぞれが全国また世界のあらゆる分野で活躍していらっしゃいます。それとともに、新たな課題も生じてきています。それは、年一回の広報でこれらの方々すべてに、同窓会の情報を伝達するのはすでに困難な状況になってきているという事実です。この問題の打開策としては、IT時代の昨今、ホームページを活用すべきではないかと考えております。今後更にホームページを充実させ、情報の伝達にとどまらず、同窓会員の交流の場として開いていくよう勤めたいと思っております。

来る創立五十周年は、学校は勿論、同窓会にとりましても、これまでにない大きな節目になることと思ひます。立派な記念事業を立案、実施するためにも、今こそ同窓会が結束して、母校のために大いなる力を発揮する舞台であると考えています。なにとぞ会員諸兄の物心両面にわたる絶大なるご協力をお願い申し上げます。

## 協賛金のお礼

平成18年7月から平成18年12月分  
次の皆様よりご寄付をいただきました。  
誠にありがとうございます。また、  
誌上にご芳名を掲載させて  
いただくことで礼状に替えさせて  
いただきます。

今後とも、同窓会活動に対し、  
深いご理解とご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。

### 同窓会 協賛金 協力者名簿

1期	坂田 巧
2期	坂 英二
3期	古布 明
4期	中村 和昭
7期	望月 彰美
8期	若宮 邦弘
9期	田中 一治
12期	山畑 規子
13期	山路 太一
14期	九鬼 家隆
18期	上村 加奈子
21期	加藤 由美子
31期	濱口 伊織
32期	岡崎 晋平
33期	森 星子
36期	河村 峻介
38期	森 陽子
39期	西山 諒
40期	山路 悠実
	山路 実加
	坂下 淳子

## 平成十九年度 皇學館高等学校同窓会役員名簿

会長	坂田 巧 (第1期)
副会長	山本 徹人 (第13期)
幹事長	浅野 敦 (第13期)
役員	北村 裕彦 (第14期)
	木本 博文 (第14期)
	斎田 聖生 (第18期)
	森 大亮 (第19期)
	中村憲太郎 (第24期)
	加藤 晴哉 (第31期)
	里中 富貴 (第32期)
会計監査	林 裕明 (第12期)
直前会長	西村 幸彦 (第10期)
学内担当者	西井 栄治 (第3期)
	中村 貴史 (第4期)
	相原 誠 (第7期)
	齋藤 愛美 (第12期)
	岩崎 真理 (第13期)
	小塚 邦代 (第18期)
	伊藤 朝子 (第22期)
	田中美保子 (事務長)

## 同窓会の開催を 支援します！

同窓会本部では、よりたくさんの  
年度会等を開催していただくため、  
支援金制度を設けています。支援金  
のお渡しに際しましては、当日の名  
簿・集合写真等の提出をお願いして  
おります。開催の予定がございまし  
たら、事前に本部（学校事務局）ま  
でご相談ください。

連絡先 ☎ 0596(22)0205

支部会の開催	……五〇、〇〇〇円
年度会の開催	……三〇、〇〇〇円
クラス会の開催	……一〇、〇〇〇円

## 不審電話について

昨今、名簿発行を理由に学校の名前を使用し、住所等の問い合わせに關した失礼な電話が相次いでいるとの苦情をお寄せいただくことが多いのですが、学校におきましては、電話を通じてお問い合わせをおこなうことはありませんので、ご承知ください。不審な電話等には、くれぐれもご注意ください。

## 事務室からのお願い

卒業証明書・成績証明書・調査書等が必要な場合は事前に電話連絡をお願いします。突然、来校されても、卒業証明書を除くほかの書類については、翌日以降の発行になります。即日発行はできませんので、その点ご注意ください。

## 受付時間

月～金 午前8：30～午後4：00  
土 午前8：30～午後12：00

日・祭日・第二・第四土曜日はお休みです。但し、学校行事等により、休日が変更される場合がありますので、ご注意ください。

皇學館高等学校事務局

TEL 0596 (22) 0205

# 皇學館高等学校同窓会 会員総会

◇印刷 (有) 青木印刷

- 日時 平成19年8月12日(日) 13:00~18:00 (受付13:00~13:30)
- 場所 皇學館高等学校、中学校及び 皇學館大学キャンパス

在校生 (4月1日現在)

1年生 361名

2年生 399名

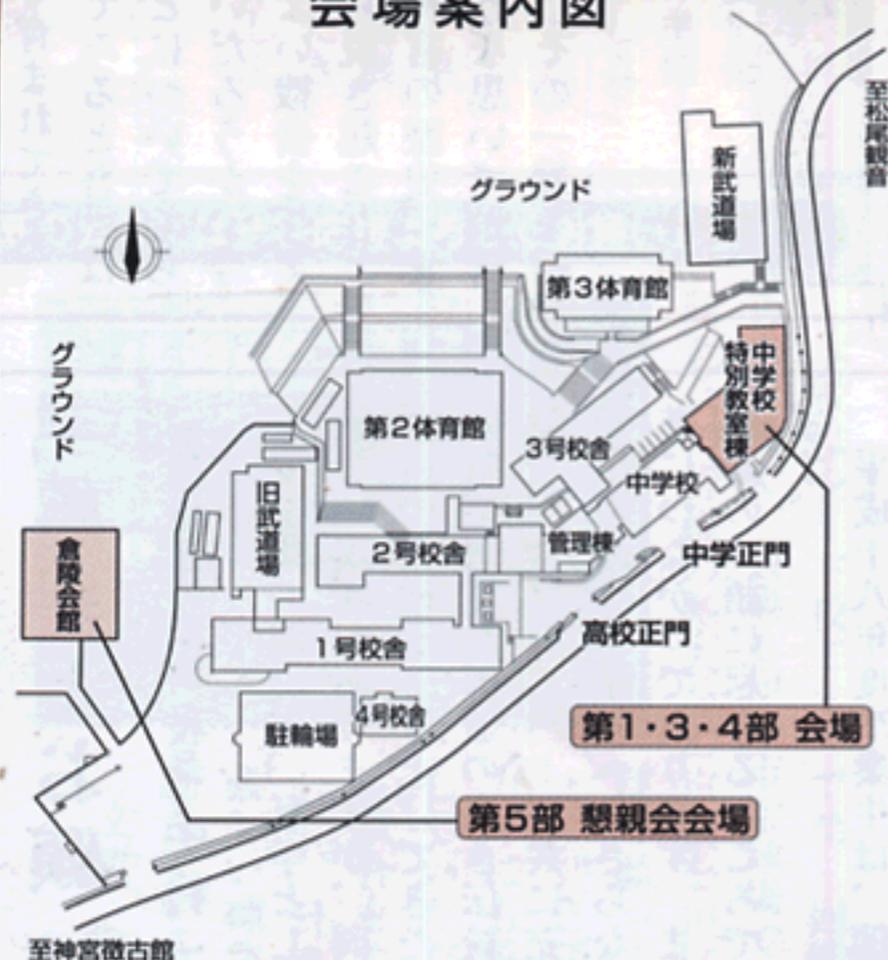
3年生 390名

計 1,150名

同窓生

14,787名

## 会場案内図



※第5部会場は大学倉庫会館

- 受付 13:00~13:30
- 第1部 会員総会 13:30~ セミナーホール  
三年に一度の会員総会です。  
卒業生の方、ぜひ出席してください。
- 第2部 見学会 14:00~ 校舎内案内  
新しい皇學館をぜひ見学してください。
- 第3部 演奏会 14:30~ セミナーホール  
吹奏楽部による美しい演奏を聴いてください。
- 第4部 講演会 15:00~ セミナーホール  
小林 裕八 教諭  
講演 「神宮参拝の心」
- 第5部 懇親会 16:15~18:00 倉庫会館  
1期から42期まで一同に集まり、親睦を深める場をもうけました。先生方も多数御出席いただける予定です。会費¥3,000を徴収させていただきます。

尚、本年卒業の42期生の皆様はご招待とさせていただきます。

アルコールを飲まれる方は、御車の運転をご遠慮ください。

## ホームページ

今後会報だけでなく、ホームページを通じて同窓会会員との連絡やコミュニケーションをより一層深めていきたいと考えています。

ホームページへのご来訪、ご参加をお待ち申し上げます。

<http://www.kogakkan.org/>

※只今、ホームページへの、各種協賛・広告を募集中です。奮ってご参加をお願いいたします。

# 総会に向けて

八月十二日、皇學館高等学校同窓会の、会員総会を開催させていただきます。会員総会は、三年に一度行われ、卒業生皆様が、参加資格を有する総会です。今回は平成二十五年に行われる高等学校創立五十周年、中学校創立三十五周年記念事業に向けて、一步を踏み出す大きな意味を持つ総会です。ぜひとも、一人でも多くの卒業生がご出席を賜り、五十周年記念事業、及び母校の発展、同窓会のあり方について、ご意見をいただければと願います。

また、総会終了後、第二部として、今年三月に完成した中学校特別教室棟、高等学校武道場、現校舎等の見学会を行います。新しく生まれた皇學館、卒業生、一人一人が思い出を刻んだ皇學館を、この機会に是非 足を運んで見学いただければと思います。

第三部では 吹奏楽部による演奏会を披露します。吹奏楽部は、県下で一番を目指し、猛特訓し、成長著しいクラブです。美しい音色を耳にしてください。

第四部では、小林裕八教諭にお願いし「神宮参拝の心」と題し、一時間と短い時間ではありますが、御講演をしていただきます。小林先生におかれましては、長年にわたり、地理、歴史、公民、そして神道の授業を持たれ、卒業生にとっては思い出深い先生ではなかったでしょうか。この講演を通し、皇學館で学んだ良き学びを今一度、甦らせてみてはいかがでしょうか。そして最後に懇親会を開催いたします。

第一期から、今年春卒業の第四十二期の皆様が、一同に会し同じ皇學館の仲間、懇親を深めていただければと思います。またいつも以上に、中村学校長をはじめ、教職員の方々が御出席いただける予定です。この機会に、参加いただき、恩師の先生方や旧友と再会を果たし、昔話に花を咲かせていただければと思います。

以上の内容にて予定させていただいております。今回においては、例年に比べ、少し地味ではありますが、原点にもどり「ふれあい」を大切にしたい企画を立てさせていただきます。一人でも多くの卒業生の方々が時間の許す限り参加していただければと、同窓会本部一同、お待ちしておりますので、参加のほどよろしく願います。

## 第三部 演奏会

十四時三十分～十五時

吹奏楽は体力、集中力が非常に要求される芸術です。各々が見事に融合したときには何事にも変えるとのできない感動が得られます。この一年間音楽面以外にも、礼儀、清掃活動などを軸に組織作りを行い、大変活気のあるクラブになってまいりました。まだ



まだ未熟ではあります  
が精一杯演奏させてい  
ただきます、  
よろしくお  
願ひいたし  
ます。

顧問

前川幸生

第22期生

## 第四部 講演会

十五時～十六時

### 「神宮参拝の心」

皇學館高等学校教諭

小林 裕八

日本人の心の  
ふるさと伊勢、  
伊勢という響き  
はどこか懐かし  
く慕わしい。そ



の思いは神宮が御鎮座されているこ  
とに起因していることは言うまでも  
ない。我が母校である皇學館はこの

地でうまれ、この地で育まれてきた。  
しかし、翻って考えてみると吾々は  
あまりにも神宮のことについて知ら  
なすぎるのではないだろうか。今  
回、同窓会によってよい機会を与え  
られた。遠く神代から説き起こし、  
天照大神の御神格、神宮の歴史、ま  
た先人たちがどのような思いで神宮  
に参拝してきたのか、その一端を紹  
介してみたいと思う。

## 第五部 懇親会

十六時十五分～十八時

皇學館大学倉陵会館で開催。懐か  
しい先生がたが多数、出席してくだ  
さる予定です。当日は、演歌歌手と  
してデビューした中西里絵さん（42  
期）の歌も聞かせていただける予定  
です。多数、ご出席ください。

感謝します

岡田啓聖（41期）

昨年八月の同窓会総会で当選した  
旅行パックで、家族みんなが楽しむ  
ことができたらと思つて、この春休  
みを利用して、家族全員をさそつて、  
下呂、高山に出かけました。第一日  
目は下呂温泉泊。二日目の高山では  
最後に櫻山八幡宮に参拝しました。  
賑わいを見せる高山祭も、櫻山八幡  
宮への崇敬心が原点のような気がし  
て、旅の締めくくりにふさわしいも  
のでした。

両親、姉たちがとても喜んでくれ、  
私も満足でした。このような機会を  
与えてくださいました皇學館高校同  
窓会様に心から感謝いたします。あ  
りがとうございました。

# 「感謝とお願い」

皇學館高等学校 校長 中村 正昭

少子化の波の中、私学としては厳しい現状がありますが、同窓会会員の皆様が築き上げてきた礼節の堅持と文武両道の良き伝統の陰で、ソフト、ハード共に充実した皇學館高等学校へとさらなる躍進につながっております。まさに感謝の一語に尽きるところであります。

平成十八年度卒業生は、国公立大合格者四十四名、防衛大合格者七名をはじめ、有名私大合格者も著しく増加し、近年にない進学実績を伸ばすことができました。

クラブ活動においては、平成十九年度県高校総体総合で男子二位、女子五位の成果を出し、既に剣道部男子団体・個人、新体操部女子団体・個人、柔道部男女各個人、陸上部女子個人、卓球部女子個人で全国高校総体への出場を決めております。あと一步で優勝を逃したバスケット部男子、バレー部男子、柔道部男子団体等も大活躍をしてくれました。また、野球部は春季県大会で準優勝し、夏の県大会での活躍を期待しているところです。

平成二十五年には、本校創立五十周年となります。周年記念事業への取り組みを通じて、同窓会会員の皆様が結束を高められ、本校充実発展のために支援と協力をよろしく願います。

## 周年事業・ 新建築の完成と記念行事

今年三月、皇學館高等学校武道館および中学校特別教室棟が完成した。後援会四億円の資金援助をうけて、総工費十一億円を要する大工事であった。この設備拡充は、平成二五年に創立五〇年を迎える皇學館高等学校（中学校は翌平成二六年、創立三五五年）の周年記念事業の成果のひとつに数えられる。

\* \* \*

特別教室棟三階のセミナーホールは、四月二〇日、ここを会場に開かれた後援会・保護者会総会の後、「歌の小径」とタイトルされた、二人のソプラノ、一人のテノールによる美しいナインバーを集めた歌曲のサロンリサイタルと古典落語二席を催し物として組みこんだイベントが、実質的なこけら落としとなった。リサイタルのアンコールで三人の歌手の歌う乾杯の歌に会場はもりあがったし、「たがや」（笑福亭猿笑）の軽妙な話の運びとクスグリの多い「看板の一」（桂福車）の満場の笑いのうちに当日を終えた。新しい武道館の完成記念行事は、三度にわたっておこなわれた。六月三日（日）は、弓道場。午前九時から午後三時半まで、弓道連盟、友校



（日）、和歌山東、桜丘（愛知）、中京（岐阜）、磐田西（静岡）、上宮、近畿大附属、精華（大阪）、和歌山工業の強豪八校を向かえ一六八名の参加があり盛況。柔道場は、六月二三日、土曜午後一時からの開催。強豪静岡学園高等学校、中京高等学校を迎えての招待試合。人数は五〇名あまりだったが、翌日が日曜日であることもあって、両日にわたって内容の充実した対抗戦が展開し、いずれも活況を呈した。

ところで、今後の周年事業は、教育活動の環境整備と生徒に対する支援活動の二本を柱に、未来をみすえた内容で展開していくことをうたっている。趣意書ではそのことを「建学の精神に則った教育の実践は時代の要請」と表現し、そうした人材育成に資する周年事業にしようとする目的意識で一貫している。

周年事業委員会は、募財活動実行委員会、記念誌編纂実行委員会、記念式典・記念行事実行委員会の三部構成だが、記念誌の編纂、記念式典、記念行事は、どれも平成二五年をにらんだ事業であって、それらは時代の要請にみあう形で、今後、検討されていくことになる。

周年事業を展開するにあたっての総予算額は、四千万円。そのうちの二千万を募財目標額としている。募財委員長に坂田同窓会長、副委員長に山本徹人会員（13期）、木本博文会員（14期）が推挙された。

皇學館高等学校創立50周年

皇學館中学校創立35周年

## 記念事業に向けて

皇學館高等学校が昭和三十八年に創立され、平成二十五年に半世紀、五十周年を迎えようとしています。

当時、西山徳校長の下、第一回入学式が執り行われ、百六十名の入学者を迎え、伊勢市立有緝小学校を仮校舎とし、白紙の状況でのスタートで、当時、先生をはじめ先輩方々のご苦勞は並々ならぬものであったと伺っています。そして今年、四十五年の月日と共に約一万五千名もの卒業生を輩出し、一人一人の御努力のもと、伊勢の地にしっかりと根を張り、伝統をかねそなえた素晴らしい学校に成長をとげ今日に至っています。

中学校においても同様に三十五周年を向えようとしています。

この重き伝統をかねそえた、五十年という節目の年を向えるにあたり、卒業生、在校生、学校関係の方々、地域で支えていただいた皆様等、五十年を共に歩んだ方々が、共に感謝し、喜び、更なる飛躍につながる事業が出来ないか計画しております。そのため、記念事業推進委員会を発足させ、今後事業の達成に向け準備にとりかかっております。しかしこれらの事業は皆様の物心両面にわたるご支援なくして、達成はむずかしいと思われまます。つきましては、皇學館高等学校、中学校の更なる発展に託した思いをお汲み取りいただきご支援を賜りますようお願い申し上げます。

尚、詳細については同封パンフレットをご覧ください。

## 野球部の現状―選手権大会展望

今年のチームの特色は、何といっても七人の左打者が並ぶ攻撃型のチームというところでしよう。それぞれが走力にも優れ、上下のムラなく、どこからでも得点できる県内有数の強力打線が看板です。長打力も秘め、また小技もこなせるうえ、チャンスに畳み掛ける迫力をもっています。

一年生大会で優勝し、昨秋は県三位で東海大会に出場。今春も県準優勝で東海大会に出場しましたので、夏の選手権大会こそ優勝して、甲子園出場の夢を果たしたいと思っています。

打線に比べて、投手力にはやや不安も残っています。左・右のそれぞれのエースが成長をみせていますので、期待通りの力を発揮してくれるものと期待したいところです。

優勝候補として前評判が高いのが、好投手を擁する宇治山田商業、海星、菰野、四日市工業などの甲子園経験をもつ錚々たる実力校です。

本校はシード校ですので第二回戦からの登場で、会場も伊勢市営球場です。同窓会の皆様の多大なご声援を頂けれ



ばと願っています。応援の方々にも感動していただける試合をめざして、日々の厳しい練習に励んでいます。

(文責・西井)

夏の大会にはぜひ応援よろしくをお願いします。

## 平成19年3月卒業生合格状況

## 国立大学

横浜国立大学  
金沢大学  
山梨大学  
信州大学  
静岡大学  
名古屋大学  
名古屋工業大学  
三重大学  
奈良女子大学  
和歌山大学  
鳥取大学  
鳥根大学  
徳島大学  
香川大学  
愛媛大学

## 国立大学校

防衛大学校

## 公立大学

都留文科大学  
山梨県立大学

名古屋市立大学  
三重県立看護大学  
滋賀県立大学  
大阪府立大学  
兵庫県立大学  
下関市立大学  
長崎県立大学

## 私立大学

慶應義塾大学  
國學院大学  
国士館大学  
駒澤大学  
上智大学  
専修大学  
玉川大学  
中央大学  
帝京大学  
東海大学  
東京経済大学  
東京電機大学  
東京農業大学  
東京理科大学

東邦大学  
東洋大学  
日本大学  
法政大学  
明治大学  
立教大学  
神奈川大学  
金沢工業大学  
北陸大学  
福井工業大学  
名古屋学芸大学  
愛知大学  
愛知学院大学  
愛知工業大学  
愛知学泉大学  
愛知淑徳大学  
金城学院大学  
椋山女学園大学  
大同工業大学  
中京大学  
中京女子大学  
中部大学  
名古屋音楽大学

名古屋外国語大学  
名古屋学院大学  
名古屋経済大学  
南山大学  
日本福祉大学  
名城大学  
東海学園大学  
日本赤十字豊田看護大学  
皇學館大学  
鈴鹿医療科学大学  
三重中京大学  
四日市看護医療大学  
長浜バイオ大学  
京都外国語大学  
京都産業大学  
京都学園大学  
京都女子大学  
京都橘大学  
同志社大学  
同志社女子大学  
京都ノートルダム女子大学  
佛教大学  
立命館大学

龍谷大学  
大阪学院大学  
大阪樟蔭女子大学  
大阪体育大学  
追手門学院大学  
関西大学  
関西外国語大学  
近畿大学  
摂南大学  
帝塚山学院大学  
太成学院大学

関西医療大学  
関西学院大学  
甲南大学  
甲南女子大学  
神戸学院大学  
神戸女子大学  
神戸松蔭女子学院大学  
武庫川女子大学  
近大姫路大学  
岡山理科大学

平成18年度(平成19年3月卒業)卒業生進路状況

進路	男子	女子	合計
四年制大学	186	148	334
短期大学	1	29	30
専門学校	16	43	59
大学校・留学	2	3	5
就職	5	2	7
進学準備	14	3	17
合計	224	228	452